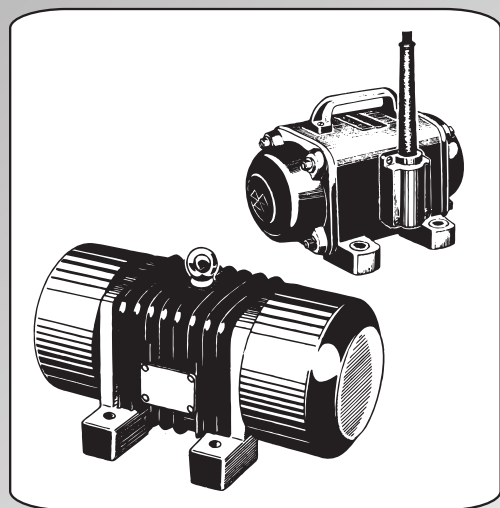


Mikasa

KJ 自振モーター

取扱説明書



三笠KJ自振モーターをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

 **三笠産業株式会社**

201-01803

仕様

KJ-S2P 単相 100V

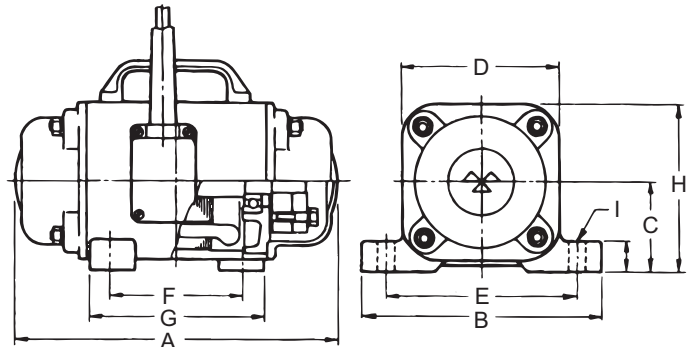
型式	出力 (W)	周波数 (Hz)	定格電流 (A) (50Hz/60Hz)	振動数 (V.P.M.) (50Hz/60Hz)	振子の枚数		遠心力 (kg)	質量 (コード含まず) (kg)	取付ボルト (mm)
					50Hz	60Hz			
KJ 35	35	50/60	0.74/0.6	2,850/3,450	8		21	5.0	10
KJ 75	75		1.35/1.1		12		42	6.2	10
KJ 150	150		3.0/2.9		20	12	63	11.5	10
KJ 200	200		5.0/4.8		24	16	84	13.0	10

KJ-2P 三相 200V

型式	出力 (W)	周波数 (Hz)	定格電流 (A) (50Hz/60Hz)	振動数 (V.P.M.) (50Hz/60Hz)	振子の枚数		遠心力 (kg)	質量 (コード含まず) (kg)	取付ボルト (mm)
					50Hz	60Hz			
KJ 35	35	50/60	0.21/0.19	2,850/3,450	8		28	5	10
KJ 75	75		0.42/0.38		16		56	6.2	10
KJ 150	150		0.7/0.65		24	16	84	9.5	10
KJ 200	200		1.0/0.95		40	28	140	11.0	10
KJ 250A	250		1.3/1.2		16	10	270	22.0	10
KJ 400	400		1.8/1.7		24	16	415	25.0	16
KJ 550	550		2.5/2.4		36	24	620	28.0	16
KJ 750	750		3.3/3.2		20	14	830	38.0	16
KJ 1500	1500		6.1/6.0		40	26	1,650	51.0	20

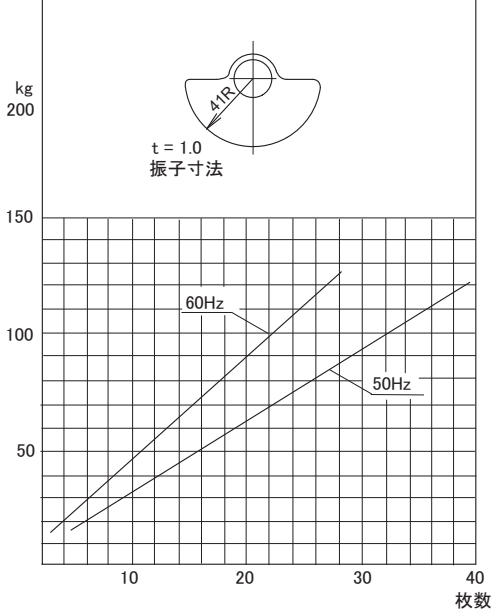
外形及び取付部寸法表

型式	A	B	C	D	E	F	G	H	Iφ-数	J
KJ 35	168	160	60	112	135	35	62	116	11 φ-4	35
KJ 75	188	160	60	112	135	65	97	116	11 φ-4	19
KJ 150	230	164	60	112	138	90	118	116	11 φ-4	19
KJ 200	254	167	60	112	141	110	142	116	11 φ-4	22
○ KJ 250A	280	230	85	150	186	114	156	162	17 φ-4	26
○ KJ 400	300	232	85	150	186	134	176	160	17 φ-4	28
○ KJ 550	360	245	85	150	193	178	220	160	17 φ-4	32
KJ 750	328	273	105	184	220	120	173	197	17 φ-4	44
◎ KJ1500	434	270	105	182	220	150	200	196	22 φ-4	40

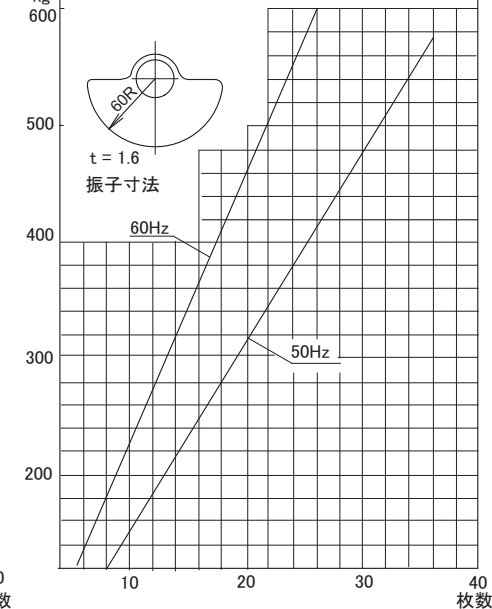


遠心力一覧表

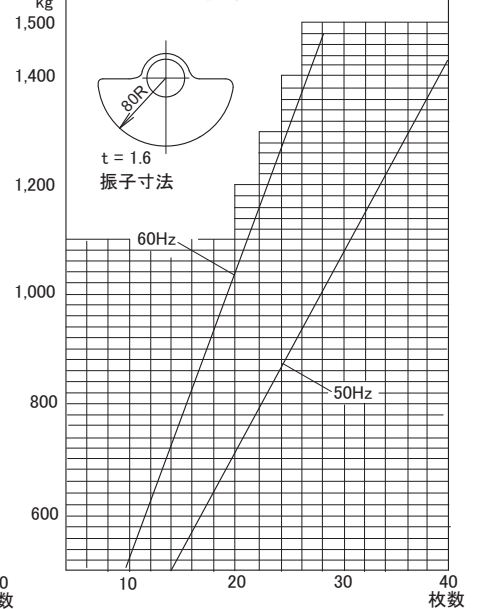
遠心力 35・75・150・200型自振モーター
枚数-遠心力



遠心力 250A・400・550型自振モーター
枚数-遠心力



遠心力 750・1500型自振モーター
枚数-遠心力



機械の用途、危険性の警告、構造及び動力伝達

【用途】

KJ 型自振モーターは、橋桁、PC 板、ボックスカルバート等コンクリート製品の製造工場あるいは現場において、外部専用の型枠・テーブル等に使用する振動モーターです。内部用バイブレーターだけでは十分な締固めが行き届かない場所を型枠の外側からコンクリートに振動を与え、コンクリートの充填不足を防止します。また、テーブル上の型枠をゆすりコンクリートを締固めると共に表面をきれいに仕上げます。

コードを延長すれば深い場所や電源から離れたところでのコンクリート打設作業も容易に出来ます。

なお、本機をホッパー、プラント、トラックミキサー等に取付けて、生コンクリートの送り込みを容易にしたりセメント、製粉、製薬、肥料等のホッパーに取り付けることにより輸送速度を高めて作業能率を上げることが出来ます。

【誤用途、誤使用の警告】

コンクリートの締固めや上記以外の用途に使用してはいけません。

商用電源（単相 100V または三相 200V、周波数 50Hz または 60Hz）が必要です。

これ以外の電源に接続してはいけません。機器が損傷し感電の危険があります。

振動部分を持って作業を行ってはいけません。振動障害になる危険があります。

【構造】

KJ 型自振モーターは、商用電源（単相 100V または三相 200V、周波数 50Hz または 60Hz）により、モーターを回転させます。

本体の両側ケースカバーの中に強力な振動を発生させる為の偏心振子が有ります。偏心振子は、モーター軸の両側に直接取付けられモーターの回転によって振動を発生しています。

【動力伝達】

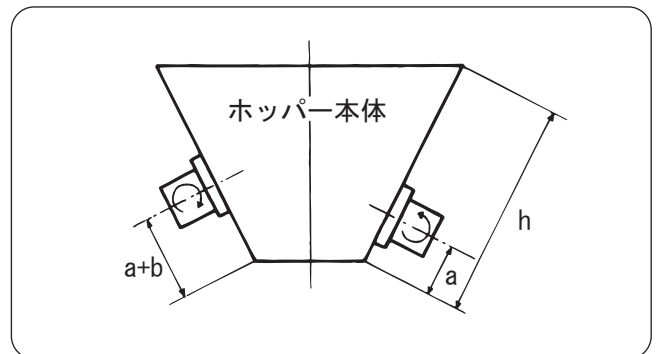
商用電源（単相 100V または三相 200V、周波数 50Hz または 60Hz）から供給された電力によりモーターを回転させます。高速で回転するモーターが直接、偏心振子を回転させることで振動を発生させ、コンクリートの締固めを行います。

お取り扱い上のご注意

- ① 運転前につきの個所を確認してください。
(イ) 電圧は規定値に入ってますか。
(ロ) アースは確実に接地されていますか。安全のために漏電ブレーカーを使用してください。
- ② 試運転して電流をチェックしてください。もし定格値を超えていれば、取付け部分を補強するか、振子調整が必要となります。定格電流値以上でご使用になるとモーター焼損の原因となります。
- ③ キャブタイヤコードの長さや太さは電力会社の規定に従って電圧降下が 10% より多くならないようにしてください。又、点検し、摩耗、亀裂等により導体部が露出していないか確認してください。キャブタイヤコードは比較的摩耗が激しいので、早めに新しいものと交換してください。
- ④ 取付ボルトの締付けは完全ですか。締付けが不十分で運転を続けると、異常音が出て振動モーターに無理な力が加わり焼損する恐れがあります。
- ⑤ 差込みプラグはしっかりと差し込んでください。運転中にプラグが緩み单相運転を起こし、コイルを焼損することのないよう気を付けましょう。また、プラグの接続個所にモルタルがついていると接続不良となります。きれいにしてお使い下さい。
- ⑥ 自振モーターは水平に取付けてください。垂直に取付けるとベアリングの寿命が短くなります。
- ⑦ 両端カバー内の振子板の数量を両側均等に増減させると遠心力を変えられます。グラフを参照し作業に合わせて全負荷電流値の範囲内で調節してください。
- ⑧ 作業が終わって格納するときは、外側のモルタル等の汚れはきれいに掃除し、コードはきちんと束ね自振モーターと共にまとめてビニールカバーをかけて風通しのよい乾燥した場所へ置いてください。

ホッパーに取付ける場合の参考位置および取付方法

- ① 容量 1.5m³ 以下の小型ホッパーの場合は $a=0.25h \sim 0.3h$ 、これより容量の大きい場合は $a=0.4h$ 程度とする。
- ② 型枠振動モーターを 2 台取付ける場合は、第一モーターと第二モーターの間隔 b は $0.15h$ 程度とする。
- ③ ホッパーの鉄板が薄い場合は、モーターの台としてチャンネルまたは厚板を溶接し補強します。ただし、チャンネル等の四隅はクラックが入りやすいため溶接はしないでください。
- ④ モーター軸は水平で使用してください。
- ⑤ 四角錐ホッパーの場合は、振動が 3 面にしか伝播しないため、反対側に取付ける方が効果的です。
- ⑥ 振動の強さは振子の枚数を調整することにより、数段階にかえることができますので、最適のところでご使用ください。



型 式	KJ 35	KJ 75	KJ 150	KJ 200	KJ 250A	KJ 400	KJ 550	KJ 750	KJ 1500
ホッパー概質量(t)	0.2~0.5	0.5~1	1~3	2~3	3~5	5~7	8~13	14~25	25~40
ホッパー板厚(mm)	1.6~2.3	1.6~2.3	2.3~3.2	3.2~4.5	3.2~6	4.5~6	6~9	9~12	12~16

※部品、パーツリストおよび修理に関しては販売店もしくは三笠部品サービスセンターにお問い合わせください。



MIKASA SANGYO CO.,LTD.

HEAD OFFICE

NO. 4-3. 1-CHOME, SARUGAKU-CHO, CHIYODA-KU
TOKYO, JAPAN



三笠産業株式会社

本 社	東京都千代田区猿楽町 1丁目 4番 3号 電話 03-3292-1411 FAX 03-3233-0530	〒101-0064
大 阪 支 店	大阪市西区立売堀 3丁目 3番 10号 電話 06-6541-9631 FAX 06-6541-9660	〒550-0012
札 幌 営 業 所	札幌市白石区流通センター 6丁目 1番 48号 電話 011-892-6920 FAX 011-892-6344	〒003-0030
仙 台 営 業 所	仙台市若林区卸町 5丁目 1番 16号 電話 022-238-1521 FAX 022-238-0331	〒984-0015
新 潟 出 張 所	新潟市西区小新 2丁目 16番 11号 電話 090-7422-8801 FAX 03-3233-0530	〒950-2023
北 関 東 営 業 所	館林市近藤町 178番地 電話 0276-74-6452 FAX 0276-74-6538	〒374-0042
長 野 出 張 所	長野市稲里町中央 3丁目 23番 7号 E-3 電話 080-1013-9542 FAX 03-3233-0530	〒381-2217
静 岡 出 張 所	静岡市駿河区下川原3丁目25番51号 B-101 電話 090-2413-5953 FAX 03-3233-0530	〒421-0113
中 部 営 業 所	名古屋市中村区則武 1丁目 9番 4号 電話 052-451-7191 FAX 052-451-0315	〒453-0014
金 沢 営 業 所	金沢市駅西新町 3丁目 16番 30号 電話 076-201-8611 FAX 076-201-8612	〒920-0027
中 国 営 業 所	広島市安佐南区祇園 3丁目 45番 11号 電話 082-875-8561 FAX 082-875-8560	〒731-0138
四 国 出 張 所	高松市今里町 6番 2号 電話 087-868-5111 FAX 087-868-5551	〒760-0078
九 州 営 業 所	福岡市博多区博多駅南 5丁目 22番 5号 電話 092-431-5523 FAX 092-431-5707	〒812-0016
南九州出張所	鹿児島市宇宿町 2222番地 6号 102 電話 080-1013-9558 FAX 092-431-5707	〒890-0074
沖 縄 出 張 所	那覇市安謝 1丁目 18番 10号 パークサイドM201号 電話 090-7440-0404 FAX 098-867-1167	〒900-0003

《部品サービスセンター》

部 品 課	春日部市緑町 3丁目 4番 39号 電話 048-734-2401 FAX 048-736-6787	〒344-0063
サ ー ビ ス 課	春日部市緑町 3丁目 4番 39号 電話 048-734-2402 FAX 048-736-6787	〒344-0063

・ 館林物流センター ・ 技術研究所 ・ 館林工場 ・ 春日部工場